

1530-1700 基調講演
三宅なほみ (中京大学教授)
「学び」をどうとらえるか -
量的・質的研究の統合とその先にあるもの

量的・質的
研究の統合

KANSAI UNIV.
09 FEBRUARY 2008
13:00-17:15

1320-1350

発表1 【実践報告】

「英語嫌い」をやる気にさせる一般教養英語クラスの取り組み
近藤睦美 (関西大学大学院外国語教育学研究科博士課程後期課程)

1355-1425

発表2 【研究発表】

留学生は日本人大学生との関係性をどのように捉えているのか
グラウンデッド・セオリー・アプローチによる仮説モデルの生成
出口朋美 (関西大学大学院外国語教育学研究科博士課程後期課程)

1430-1500

発表3 【実践報告】

大学院教育は中高の教育現場でいかに役立つか その一例
森元 靖 (平安女学院中学高等学校)

基調講演者 プロフィール

三宅 なほみ (中京大学情報理工学部教授)

カリフォルニア大学サンディエゴ校心理学科博士課程修了後、青山学院女子短期大学助教授を経て、現在に至る。専門は認知科学。主要な研究テーマは理解の深化過程、共同による問題解決過程の解明、学習科学、コンピュータによる協調学習支援。

三宅なほみ, 2007, 「学び方を学ぶ工夫としての協調学習 - その理論的背景と具体的な実践例 -」, 『日本教育年鑑2007年版』, 独立行政法人国立国語研究所(編), くろしお出版, 5-19.

三宅なほみ, 2004, 「学習科学」, 大津由紀雄, 波多野誼余夫(編), 『認知科学への招待 - 心の研究のおもしろさに迫る』, 研究社, 17-31.

三宅なほみ, 2004, 「質的データを柔軟に分析する(能智正博「質的データの分析」コメント)」, 日本児童研究所(編), 『児童心理学の進歩 第43巻』, 金子書房, 294-298.

三宅なほみ, 2004, 「新しい学びにおける評価のあり方」, 波多野誼余夫, 大浦容子, 大島純(編), 『学習科学』, 放送大学教育振興会, 178-189.

三宅なほみ, 2000, 「「学び」の支援をデザインする」, 柏木博ほか(編), 『20-21世紀DESIGN INDEX』, INAX出版, 298-310.

三宅なほみ, 1997, 「インターネットの子どもたち」, 岩波書店.

開催日: 2008年2月9日(土)
会場: 関西大学千里山キャンパス
岩崎記念館4F 多目的ホール1
参加費: 学会員 無料
非会員(一般) 2000円
非会員(学生) 1000円
* 懇親会参加希望の方は受付で
別途XXX円をお支払いください。
主催: 関西大学大学院外国語教育学会
後援: 関西大学大学院
外国語教育学研究科院生協議会
問合せ: 研究大会委員 kenkyu@kufler-s.jp

大会プログラム

- 12:30- 受付開始
13:00- 開会行事
13:20- 発表1(実践報告)
「英語嫌い」をやる気にさせる一般教養英語
クラスの取り組み
近藤睦美(関西大学大学院外国語教育学研究科)
13:55- 発表2(研究発表)
留学生は日本人大学生との関係性を
どのように捉えているのか
グラウンデッド・セオリー・アプローチ
による仮説モデルの生成
出口朋美(関西大学大学院外国語教育学研究科)
14:30- 発表3(実践報告)
大学院教育は中高の教育現場で
いかに役立つか その一例
森元 靖(平安女学院中等高等学校)
15:00- Tea Break
15:30- 基調講演
「学び」をどうとらえるか - 量的・質的研究の
統合とその先にあるもの
三宅なほみ(中京大学)
17:00- 閉会行事
17:30- 懇親会(レストラン法文坂)
* 懇親会参加費XXX円